

2019年度1・2学期 3学年イヨボヤプラン（ミラクルⅢ）

1・2学期 各自の進路実現に向かって

3年生は志望校選定や面接練習の場で、これまでのイヨボヤプランをとおして養った力や知識を活用しています。また、進路決定者に対しては「村高ゼミ卒業研究」という形で、進学・就職後に自分の進む分野で必要な知識や問題意識を身に付けるプロジェクトも行っています。

5月 志望校研究プレゼンテーション

志望校を選定するにあたってアドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーを確認し、その学校と自分が学びたいこととのマッチングを考えました。また、調べた学校をプレゼンテーションし、相互評価を行うことで話す・聴く力を高めるとともに、他の大学への視野も広げました。



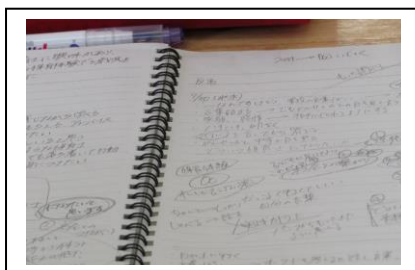
6月 分野別ガイダンス

「幼児教育分野」「看護・医療分野」の志望者を対象に、ガイダンスを行いました。「昨年度の入試状況」「面接でよく聞かれる質問」などについて説明し、夏休みまでにすべきことを確認しました。

7月～11月 チーム活動による面接(ディスカッション)練習

夏休みから、推薦・AO入試を受験する幼児教育系及び看護・医療系志望者はチーム活動による面接練習を始めました。3～4名のチームを組み、志望理由書や面接練習の相互評価をとおして、評価される観点を意識したり、自己の考えを深めたりしました。

入試に合格した生徒が、他の大学を受験する生徒のグループディスカッション練習に協力し、見事合格に導くということもありました。



生徒の面接ノート



【チーム活動に参加した生徒の感想】 ※抜粋

- グループ別に練習したので、ライバルではあるけれどお互い支え合ったりしてよい刺激になったと思います。
- 志望校が同じだったので、自分がまだ知らない情報を得ることができたり、私が得た情報を教えてあげたりして、情報交換をすることができました。
- 他の人に見られながら面接練習をすると、顔の表情や声の大きさを自然と気をつけるようになりました。



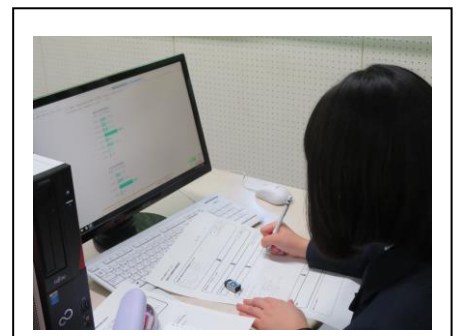
外部の先生をお招きした模擬面接も行いました

12月～ 村高ゼミ卒業研究

12月から、進路が決まっている教養コース31名の生徒は「村高ゼミ卒業研究」を始めました。2年次の村高ゼミとは少し異なり、各自が進路先に応じた論題を設定し、探究学習をすすめます。その過程をとおして、4月からの新生活に必要な知識や問題意識を身に付けていくことが狙いです。

【論題(探究テーマ)の一例】

論題	進路先
「おままごと」で養えることとは	短大 (幼児教育系)
現在の予防で感染症を完全に防ぐことは可能か	専門学校 (看護系)
動物の殺処分現状と自分ができることは何か	専門学校 (動物系)
旅館でリピーターを増やすためにはどのような工夫が必要か	就職



現在、1月29日の発表会を目指して探究を進めています。

イヨボヤプランを進路実現に活かす！



3年生は、本校において1年次からイヨボヤプランの様々な活動に取り組んできた初めての学年です。数々のグループ活動や相互評価をとおして得た「協働する力」。村高ゼミをとおして得た「問題発見能力」「思考力」。事業所訪問やプレゼンテーションをとおして得た「コミュニケーション能力」「表現力」。ここまで多くの力を養ってきました。

イヨボヤプランで養った様々な力は、進路について考える時や小論文・面接で大変役立ちました。一般入試まであと少し、今度は受験でそれらの力が発揮されることを期待しています。